



進路だより

平成29年2月24日

第8号

岡山県立岡山支援学校進路指導係

HPアドレス <http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

「3年生と進路を語る会」を開催しました！



2月15日(水)の参観日に、高等部ⅠⅡ類型の生徒は「3年生と進路を語る会」に参加しました。卒業式を間近に控えた3年生から、実習で気がついたことや進路先を決めるまでに考えたことなどの話を聞ける貴重な機会でした。事前学習として、1・2年生は3年生に尋ねたいことを考えて、1人1~2問ずつ質問しました。3年生は、質問に対する答えも交えながら説明用のパワーポイントを作成し、発表しました。当日は、保護者の参観もあったので、いつもより緊張した様子の生徒もいましたが、それぞれの生徒が事前学習の成果を出し、引き締まった雰囲気で行うことができました。

3年生の発表から、後輩に伝えなかった大事なことをいくつかご紹介します。

- 進路を決めるまでに実習や検査で学んで意識したこと
 - ①集中すること→寝る時間の調節、スマホをすることをやめた。
 - ②わからないことは聞く→独断で進めて失敗するほうが恥ずかしい。質問や報告は社会人として必要と学んだ。
 - ③生活面の課題(自分でできることは自立のために自分でする)
- 実習では一人で難しい時には人に働きかけて相談したり、解決のための努力をしたりする必要性がわかった。自分の自信につながった。これからも自分を信じて頑張りたい。
- 自分を知ることが大切。得意なこと、苦手なことを知っておくことが大切。先のイメージにつながると思った。また、報告、連絡、相談、コミュニケーションで日ごろから伝える力を養うことが大切。
- 障害があっても自分にできることを一生懸命してほしい。
- 進学を考えるのなら、今から勉強してほしい。私は3年夏から勉強を始めたが、試験まで3か月しかなく、その間に課題を書いたり、面接練習をしたりしたので大変だった。2月には特待生になるための試験を受けたが、10月から勉強を始めたので時間が足りなかった。早く勉強しておけばと後悔している。

